

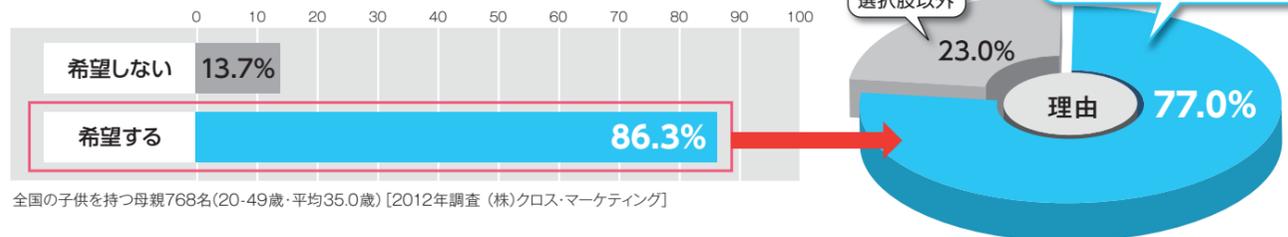
View アレルギー39は 患者様のニーズに応える アレルギー検査です



アレルギー性疾患と診断された患者様のうち、77%の方がアレルギーの原因を知りたいと考え、先生方とのコミュニケーションをしながらの診療を求めています。
患者様に説明しやすい重要なアレルゲンと先生方・患者様の役に立つサポート資材がそろっています。

保護者の77%が「アレルギーの原因を知っておきたい」と回答

Q お子さんがアレルギー疑いと診断されたら、検査を希望しますか？
またその理由をお聞かせください



全国の子供を持つ母親768名(20-49歳・平均35.0歳) [2012年調査 (株)クロス・マーケティング]

View アレルギー39は患者様への充実した 情報提供を通して、QOLの向上を目指します



待合室掲示用
ポスター (A3)

- ▶患者様向け指導箋は、先生方・患者様の声を取り入れた必要な情報で構成されています
- ▶患者様啓発用の資材として、待合室用ポスター・小冊子などをご用意しております
- ▶Viewアレルギー39ご採用のお客様にすべてをワンセットにした「スタートキット」をお届けします



患者様向けの
指導箋 (A4)



患者様啓発用
小冊子 (B6)

Viewアレルギー39情報資料のお届け *ご依頼いただいた翌営業日に東京より発送いたします

●パソコンから 検索キーワード **View アレルギー情報資料** で検索下さい。
または ▶ [Http://www.phadia.com/ja/ViewAllergy-Request-Form-Japan/](http://www.phadia.com/ja/ViewAllergy-Request-Form-Japan/)

●スマートフォンから 右の QR コードからアクセスいただけます。.....▶

*診断には血液検査の結果だけでなく、詳細な問診、経口負荷試験などで総合的に評価する必要があります。
検査陽性、特に食物で多項目陽性の場合には、さらなる問診と既往歴の確認に加え、追加検査の実施などによる精査、または必要に応じてアレルギーを専門とされる先生への紹介を検討下さい。



ViewAllergy™

Product Catalog

View アレルギー39

39の主要なアレルゲンに対する特異的IgE測定が
一度の少量の採血でできる新しいアレルギー検査です

Viewアレルギーは39項目になりました

重要な39項目の特異的IgEを少量の採血で同時に測定できる、新しいアレルギー検査です

今までの36項目

新規追加3項目

吸入系 その他のアレルギー 13		食物系アレルギー 18	
室内塵	ヤケヒョウヒダニ、ハウスダスト1	卵	卵白、オボムコイド
動物	ネコ皮膚、イヌ皮膚	牛乳	ミルク
昆虫	ガ、ゴキブリ	小麦	小麦
樹木	スギ、ヒノキ、ハンノキ(属)、シラカンバ(属)	豆・穀・種実類	ピーナッツ、大豆、ソバ、ゴマ、米
草本類	カモガヤ、ブタクサ、ヨモギ	甲殻類	エビ、カニ
空中真菌	アルテルナリア(ススカビ)、アスペルギルス(コウジカビ)	果物	キウイ、リンゴ
真菌その他	カンジダ、マラセチア(属)、ラテックス	魚・肉類	マグロ、サケ、サバ、牛肉、鶏肉

吸入系アレルギー 1項目

オオアワガエリ
主要なイネ科植物であり陽性率の高い項目です

食物系アレルギー 2項目

バナナ **豚肉**
特定原材料に準ずる20食品に含まれ、検査ニーズの高い項目です

食物系アレルギーの青文字は表示義務・推奨食品に関連する項目です

主なアレルギー

吸入系	食物系
室内アレルギーとして認知度が高まりつつあるガ・ゴキブリ	花粉関連食物アレルギー症候群(PFS)*の代表的な症状誘発食品であるキウイ・リンゴ
春の花粉症の原因となるだけでなく、花粉関連食物アレルギー症候群(PFS)*を合併することもあるハンノキ(属)・シラカンバ(属)	特定原材料(表示義務)7品目 卵白、ミルク、小麦、ピーナッツ、ソバ、エビ、カニ
春のスギ・ヒノキ、初夏から秋に飛散するカモガヤ、晩夏から秋にかけて飛散するキク科のブタクサ・ヨモギ	加熱卵摂取可能性の指標となるオボムコイド
アトピー性皮膚炎の悪化因子の1つとされるマラセチア(属)、喘息の発症因子・難治化因子となるアスペルギルス	仮性アレルギーによる症状と判別しにくいサバ

Viewアレルギー 39はスクリーニング検査に適したアレルギーで構成されています

問診から確認すべきアレルギーの推定が難しい方

学童期以降のアトピー性皮膚炎の方	アトピー性皮膚炎の増悪因子のひとつであり、ダニ・スギについて高い抗体保有率が報告されているマラセチア(属)など、主要なアレルギーが搭載されています ¹⁾ 。
アレルギー性鼻炎で花粉関連食物アレルギー症候群(PFS)*との合併が疑われる方	PFSの主要な感作アレルギーである、カバノキ科のハンノキ・シラカンバ、イネ科のカモガヤ、キク科のブタクサ・ヨモギが搭載されています。ハンノキ・シラカンバ花粉との関連が示唆され、報告も多いリンゴも同時に測定できます ²⁾ 。
アレルギー性鼻炎・ぜんそくが疑われる方	喘息の発症原因・難治化因子になるだけでなく、ABPA(アレルギー性肺アスペルギルス症)の原因アレルギーであるアスペルギルス、喘息やアレルギー性鼻炎において高い感作率を示すガ・ゴキブリなど、重要なアレルギーが搭載されています ³⁾⁴⁾ 。

*OAS 口腔アレルギー症候群)とも呼ばれています。 PFSは原因食物と同時に原因花粉の回避も重要です。
1) アレルギー・免疫12: 1728-1736, 2005 2) 特殊型食物アレルギーの診療の手引き 2015 3) アレルギー・免疫13: 548-554, 2006 4) 日耳鼻 105: 1181-1188, 2002

項目数が多いだけではありません 試薬の基礎性能が高いのがViewアレルギーの特長です

検討方法 再現性の比較 再現性が良好なのはViewアレルギーでした

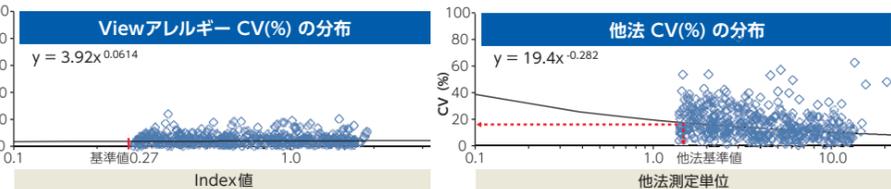
主要な8アレルギーにおいて陽性を示す2検体を同日で3回測定し、これを3回くりかえしたところ…

	Viewアレルギー Index値のCV (%)		他法測定単位のCV (%)	
	低濃度	高濃度	低濃度	高濃度
スギ	7.5	7.8	21.3	19.2
小麦	8.0	9.5	22.7	24.7

第47回日本臨床検査自動化学会大会演題番号329口演内容より一部抜粋

測定下限の評価 陰性・陽性判定の信頼性が高いのはViewアレルギーでした

複数のアレルギーにクラス2以下を示す検体を複数回測定し、CV分布から回帰式を作成したところ…



社内検討データより

変動係数(CV)とは?
値が低いほどバラツキが少なく精度が高いことを示します。

基準値(0.27)付近のCV: 3.62%	許容限界とするCV		
	20%	15%	10%
回帰式より得られた値(Index値)	陰性域	陰性域	陰性域

回帰式が許容限界CVに達する値が「陰性域」であれば、基準値は測定下限として適していることを示します

測定間のバラツキ 再現性が良好なのはViewアレルギーでした

同一検体を3回測定したところ…

社内検討データより

	Viewアレルギー n=1728							クラス一致率 92.9%	他法 n=1584							クラス一致率 81.2%					
	3回測定で一番高かった値	6	5	4	3	2	1		0	3回測定で一番高かった値	6	5	4	3	2		1	0			
3回測定で一番低かった値	0	1	2	3	4	5	6	0	1	2	3	4	5	6	0	1	2	3	4	5	6

Viewアレルギーはアレルギー検査のゴールドスタンダード*であるイムノキャップと良好な相関を実現しました

イムノキャップとの相関 Viewアレルギーとイムノキャップのクラス相関 n=246

Viewアレルギーはイムノキャップ法と良好な相関がみられました
医学と薬学 72(11): 1901-1906, 2015

Viewアレルギー	Viewアレルギーとイムノキャップのクラス相関 n=246							陽性一致率 94.7%	陰性一致率 89.5%	判定一致率 93.0%	クラス一致率 80.9%
	6	5	4	3	2	1	0				
6						1	7				
5						17	5				
4				4	21	4					
3			3	38	3						
2		6	37	4							
1	8	11	8								
0	68	1									
	0	1	2	3	4	5	6				

*Global Atlas of Allergy: EAACI 2014

Viewアレルギー 36の結果です